

ヘルター・スケルター (1976)

HELTER SKELTER

メディア 映画

ジャンル ドラマ 犯罪 サスペンス

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 92分

初公開日 1977/06/04

公開情報 東映洋画

【キャッチコピー】

《悪魔のファミリー》が犯した 血みどろ大量殺人のすべて！

今世紀最大の残虐殺人 《シャロン・テート事件》から始まった マンソン狂気犯罪の 恐るべき全貌

――

【解説】

1969年8月に起きた、美人女優シャロン・テート（当時、映画監督ロマン・ポランスキーの愛人であった）惨殺事件。担当弁護士ヴィンセント・ブリオシが事件の顛末を綴ったベストセラー・ノンフィクションをTVドラマ化。監督は「衝撃の告発！QBセブン」という傑作TVドラマをものにしていたT・グライスで、ここでもTVの枠を越えた骨太な演出を見せている。日本で公開されたものは、その2時間枠前・後編のドラマを劇場用に再編集したもの。早朝、邸を訪れた家政婦はシャロンを始め数人の死体を発見。捜査陣はすぐに近くの農場に住むチャールズ・マンソンとその一味を逮捕する。誰の目にも彼らが犯人でしかなかったが、証拠が挙がらず事態は膠着していた。だがマンソンの仲間をひとりひとり切り崩していく事で彼を有罪に持ち込もうとする作戦は成功、ついに事件の全貌が明らかにされる……。マンソンに扮したS・レイルズバックを始め“マンソン・ファミリー”の鬼気迫る芝居が強烈で、この事件の概要を知るにはもっともすぐれたテキストと言えよう。事件の重要な証拠である拳銃が警察のミスで紛失してしまうところなど、インサイド・ストーリーも興味深い。

【クレジット】

監督	トム・グライス	Tom Gries	
製作	トム・グライス	Tom Gries	
製作総指揮	リー・リッチ	Lee Rich	
	フィリップ・キャピス	Philip Capice	
原作	ヴィンセント・ブリオシ	Vincent Bugliosi	
	カート・ジェントリー	Curt Gentry	
脚本	J・P・ミラー	J.P. Miller	
撮影	ジュールス・ブレンナー	Jules Brenner	
音楽	ビリー・ゴールドンバーグ	Billy Goldenberg	
出演	ジョージ・ディセンゾ	George DiCenzo	ヴィンセント・ブリオシ
	スティーヴ・レイルズバック	Steve Railsback	チャールズ・マンソン
	クリスティナ・ハート	Christina Hart	パトリシア・クレンウィンケル
	キャシー・ペイン	Cathey Paine	レスリー・ヴァン・ホーテン
	ナンシー・ウルフ	Nancy Wolfe	スーザン・アトキンス
	マリリン・バーンズ	Marilyn Burns	リンダ・カサビアン
	アラン・オッペンハイマー	Alan Oppenheimer	アーロン・ストヴィッツ

スキップ・ホメイヤー	Skip Homeier	判事
デヴィッド・クレノン	David Clennon	ハリー・ジョーンズ
ポール・マンティ	Paul Mantee	オニール
シドニー・クルート	Sidney Clute	レポーター
ルディ・ラモス	Rudy Ramos	ダニー・デカーロ
ソンドラ・ブレイク	Sondra Blake	ロニー・ハワード